

2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

1. 動向

2025年10-12月の延べ宿泊者数（全体）は「2,309,670人」、前年同期比で「+3.8%」でした。
日本人延べ宿泊者数は「1,784,790人」、前年同期比で「▲0.8%」でした。
外国人延べ宿泊者数は「524,880人」、前年同期比で「+22.9%」でした。

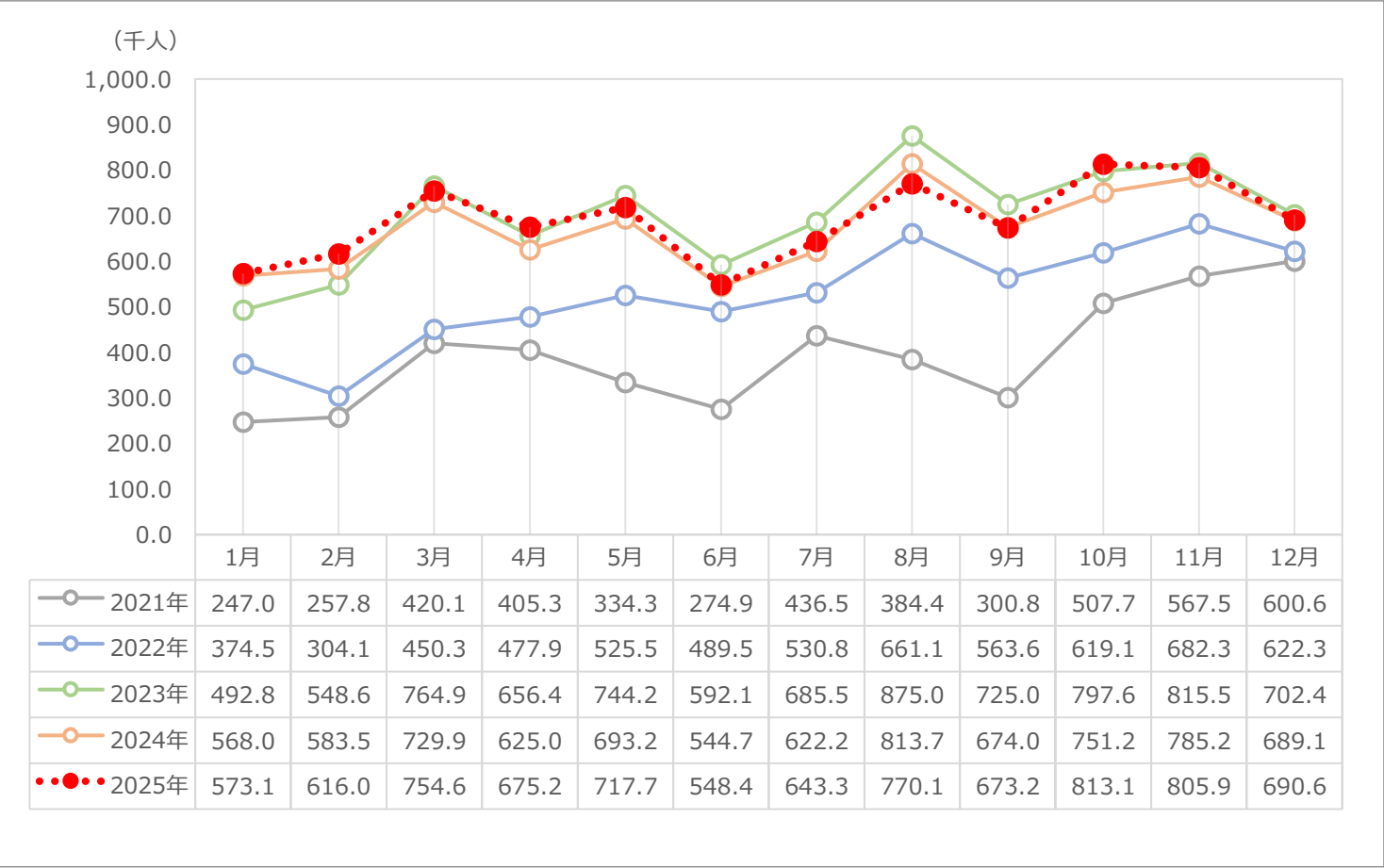
2. 延べ宿泊者数

総数：	2,309,670	人	（前年比：	+ 3.8	%）
10月：	813,110	人	（前年比：	+ 8.2	%）
11月：	805,920	人	（前年比：	+ 2.6	%）
12月：	690,640	人	（前年比：	+ 0.2	%）

※前年比・・・2024年4Qとの比較

3. 推移

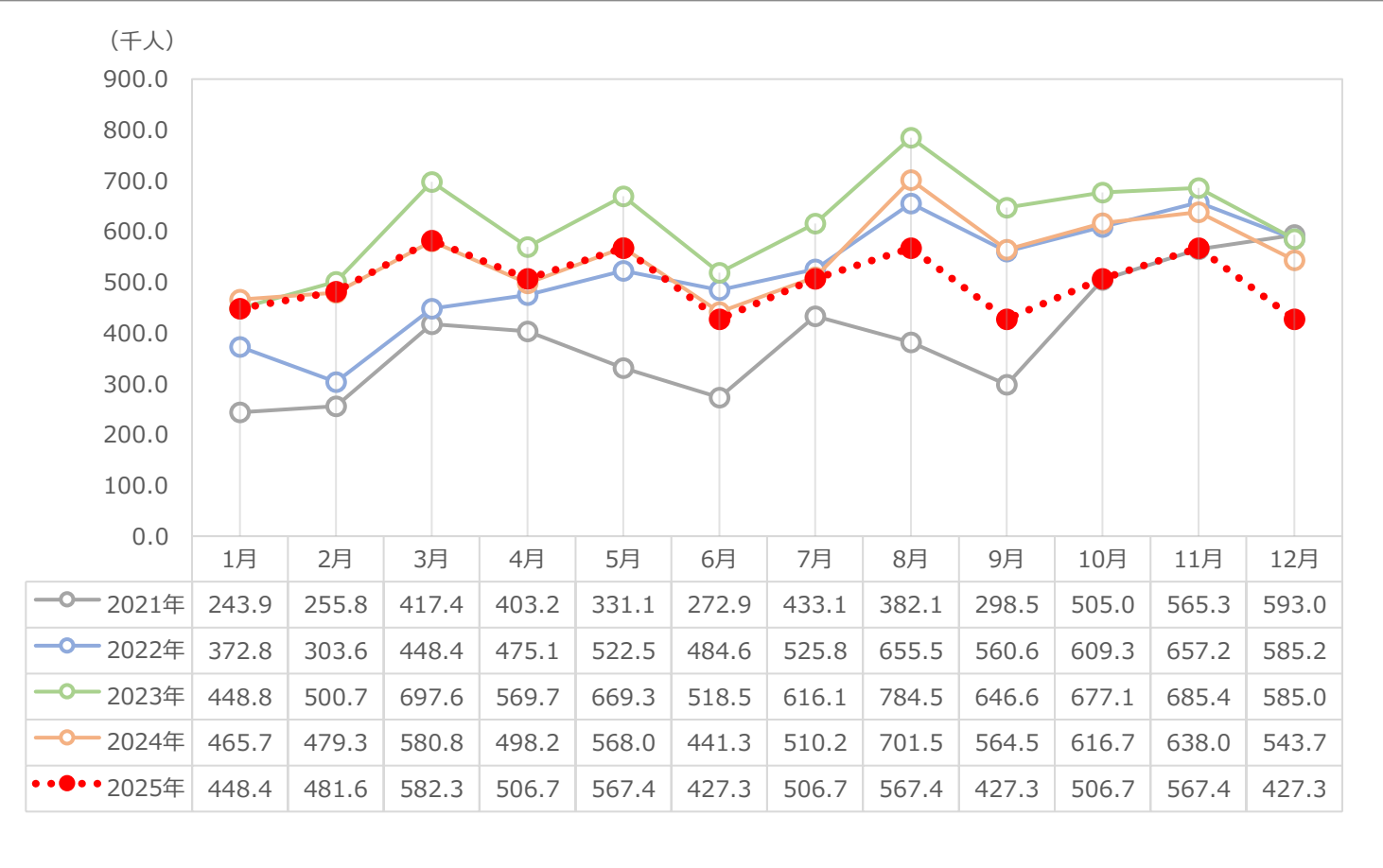
① 延べ宿泊者数（全体）



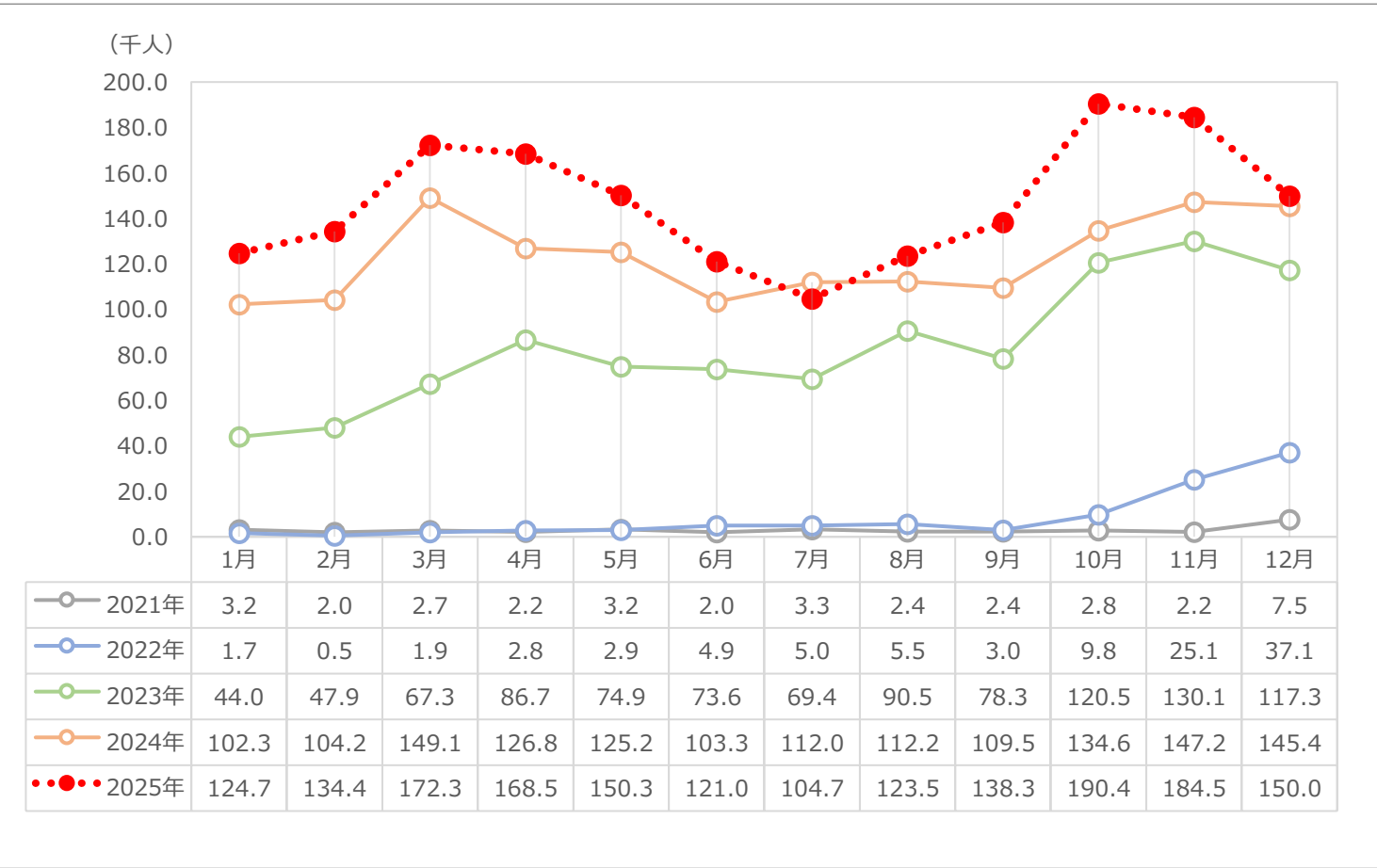
※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

② 日本人延べ宿泊者数

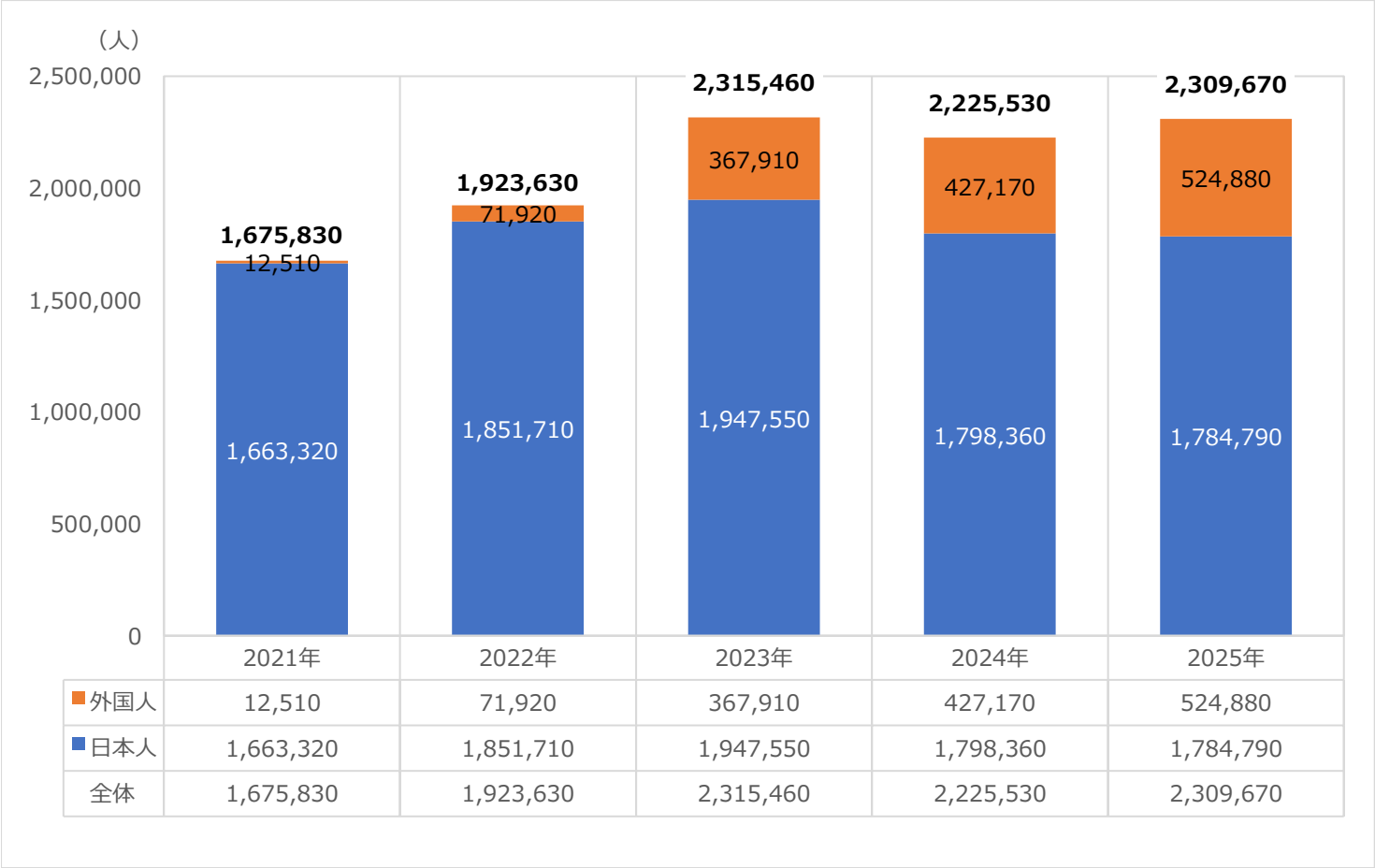


③ 外国人延べ宿泊者数

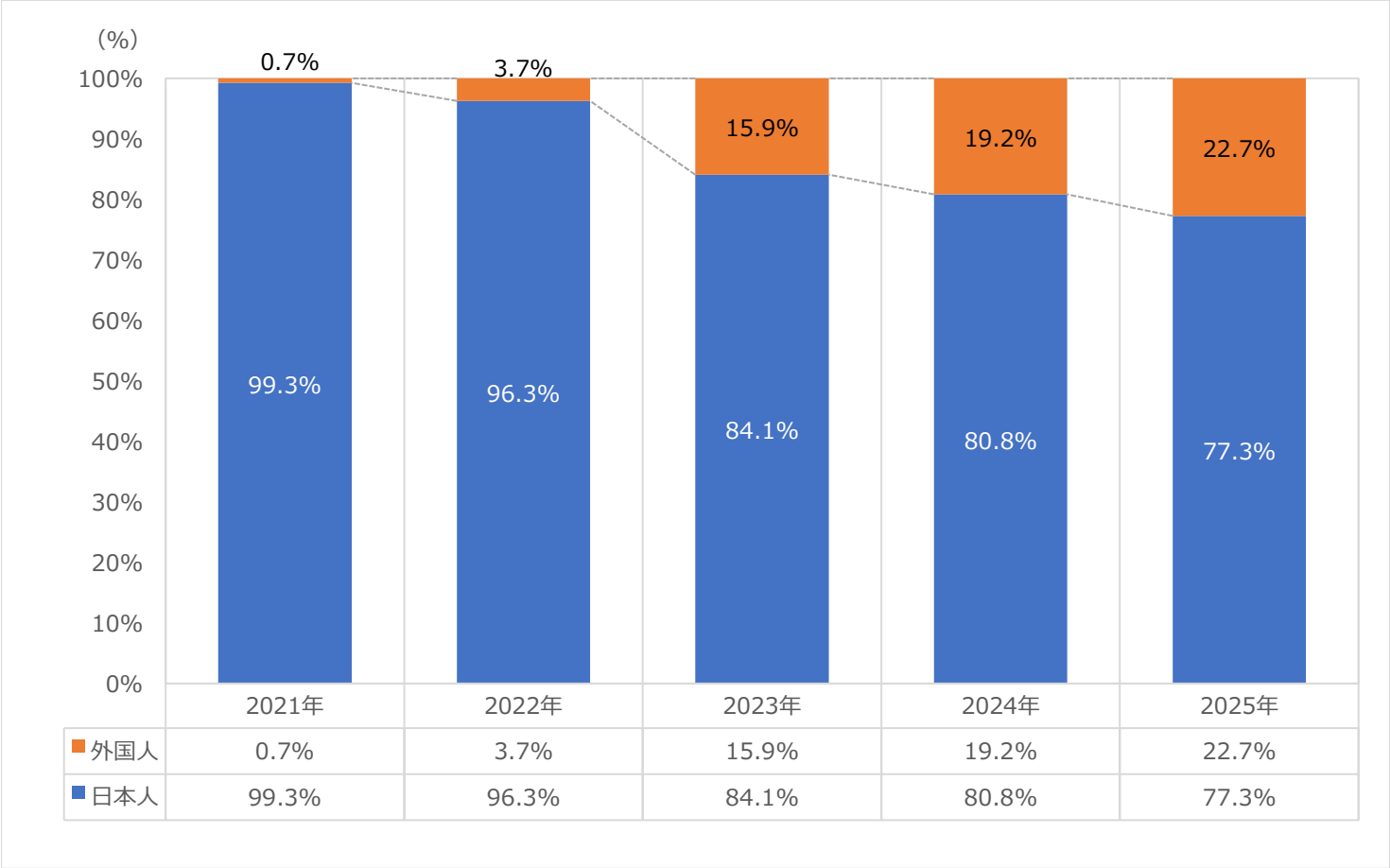


※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

4. 日本人・外国人別延べ宿泊者数



5. 日本人・外国人別割合

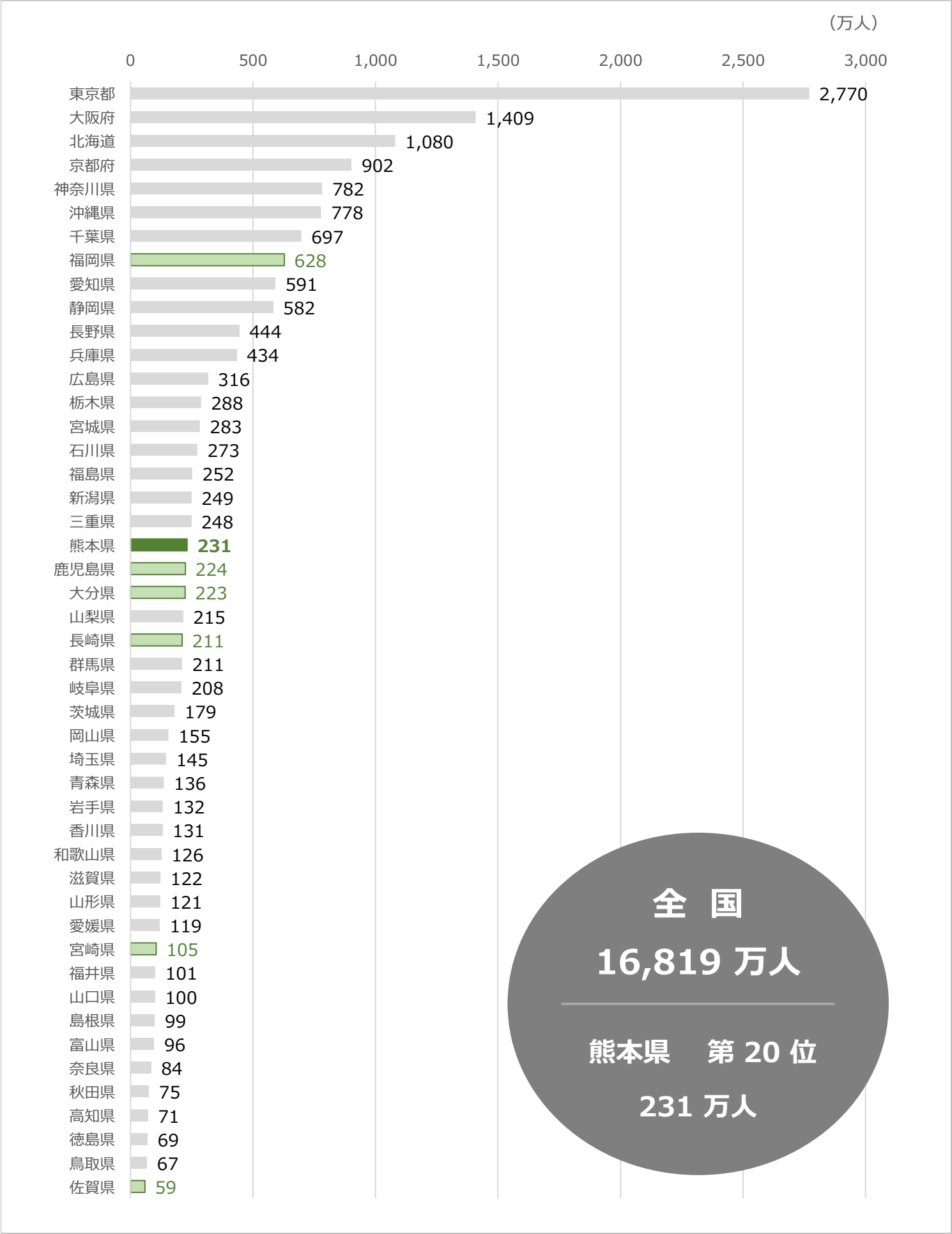


※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用

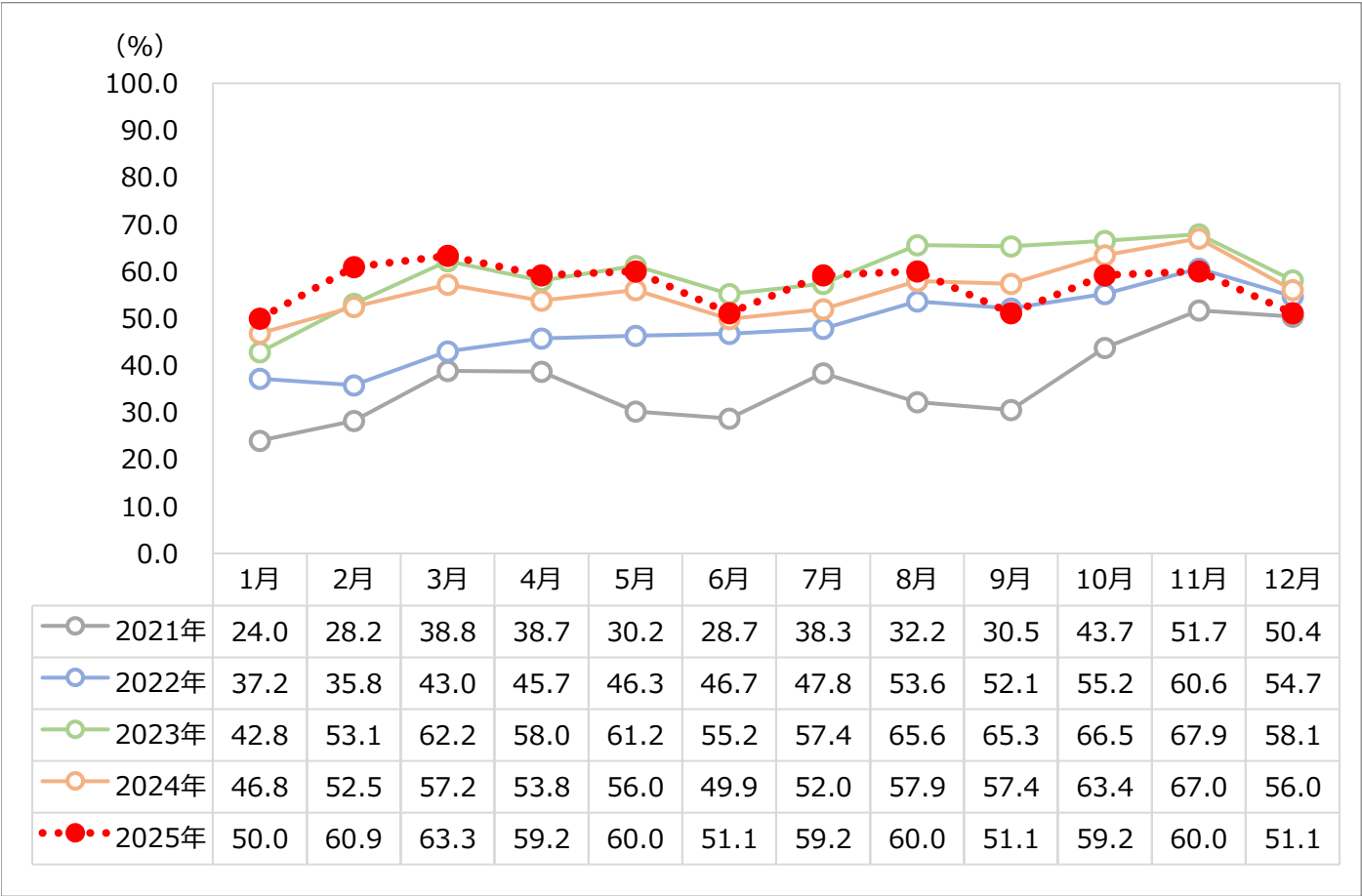


※2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

7. 客室稼働率

① 推移



① 施設別稼働率

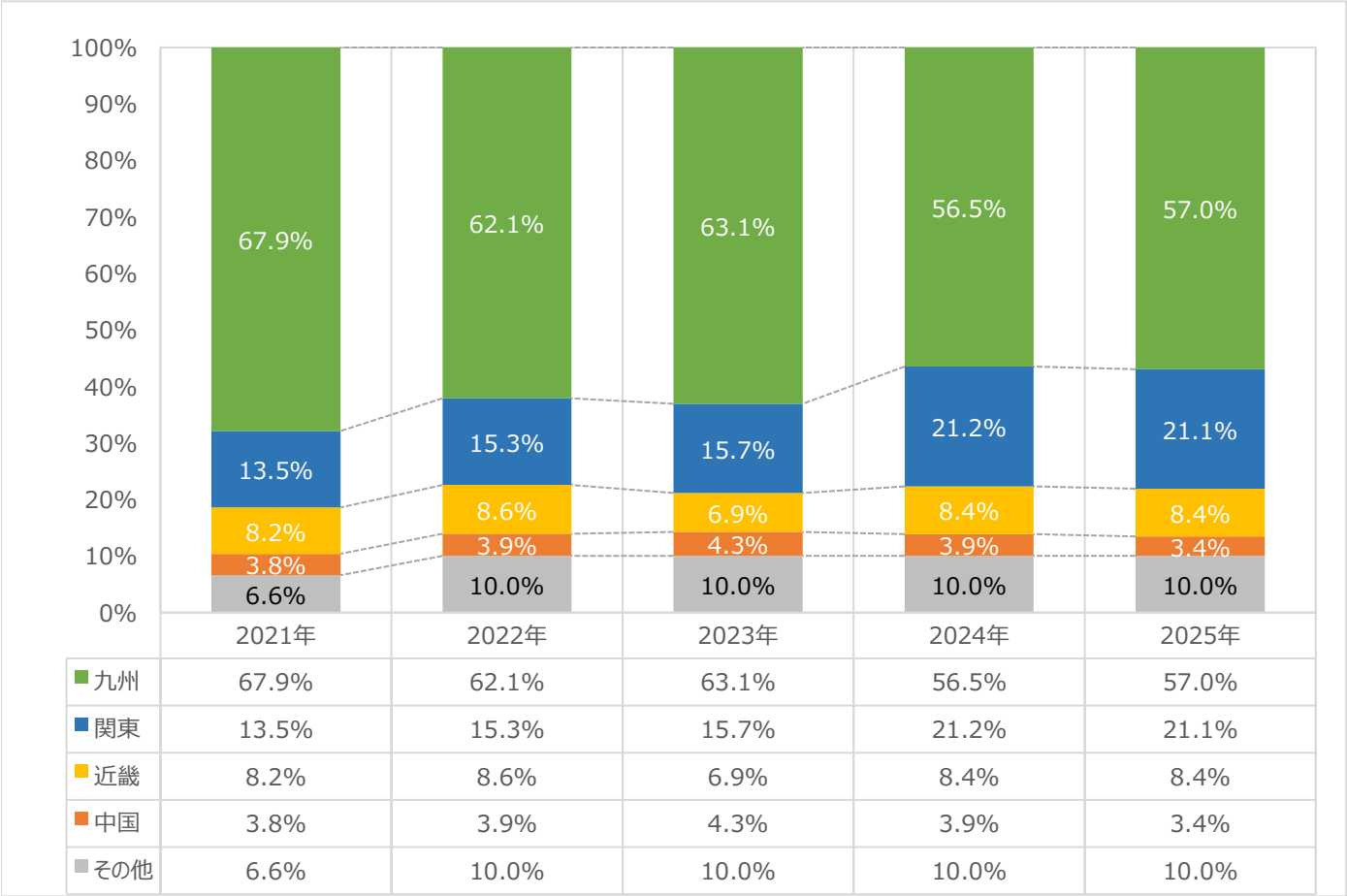
施設	2024年			2025年		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月
全体	63.4%	67.0%	56.0%	65.1%	68.3%	58.8%
旅館	47.6%	47.8%	39.0%	43.4%	48.1%	43.8%
リゾートホテル	55.2%	57.6%	46.0%	60.6%	69.2%	51.5%
ビジネスホテル	79.4%	84.0%	70.5%	79.9%	80.9%	72.5%
シティホテル	78.7%	84.9%	78.9%	82.9%	82.8%	74.5%
簡易宿所	32.0%	33.3%	29.9%	31.1%	30.3%	22.7%
会社・団体の宿泊所	33.2%	39.1%	22.9%	36.6%	24.8%	18.2%

※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

8. 国内発地別延べ宿泊客者数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合



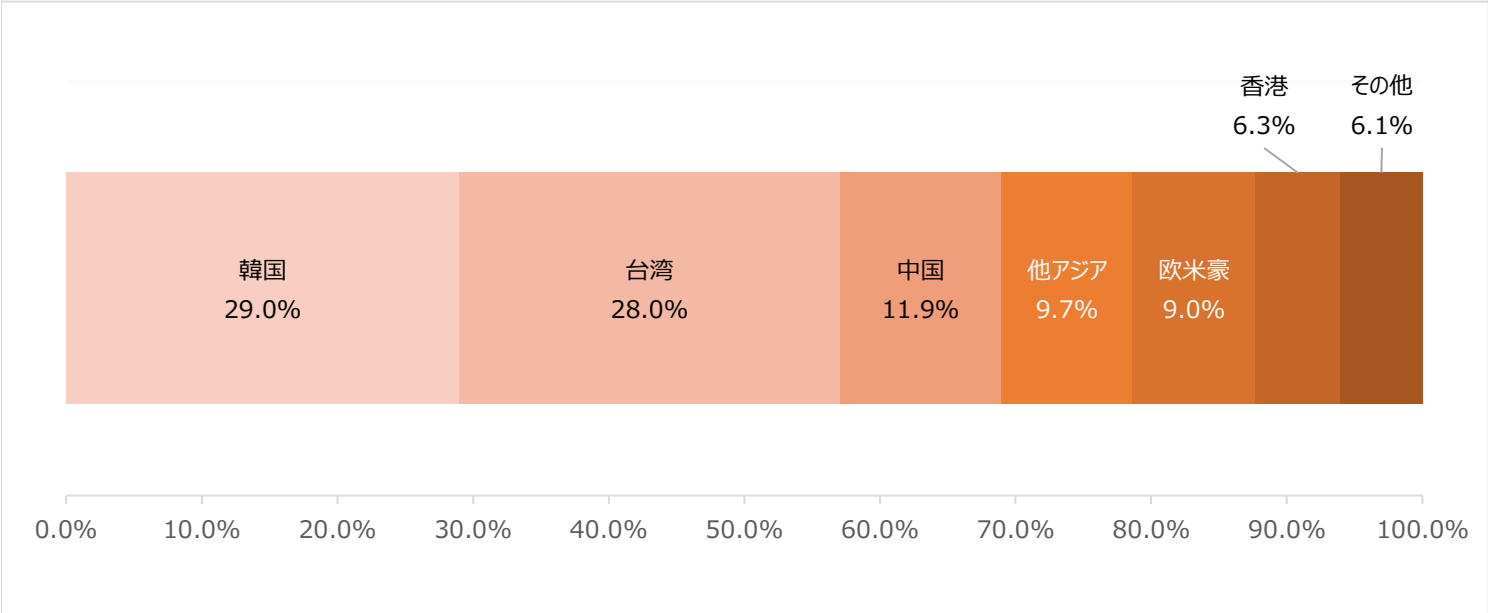
② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2024年		2025年	
1	熊本県	20,136人	熊本県	19,141人
2	福岡県	19,283人	福岡県	15,598人
3	東京都	11,613人	東京都	10,540人
4	鹿児島県	7,410人	鹿児島県	4,060人
5	大阪府	4,658人	神奈川県	3,129人
6	神奈川県	4,094人	大阪府	3,042人
7	宮崎県	3,368人	長崎県	2,647人
8	長崎県	3,172人	宮崎県	2,391人
9	埼玉県	3,137人	大分県	2,288人
10	大分県	3,030人	愛知県	1,971人

※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

9. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（従業者数10人以上の施設）

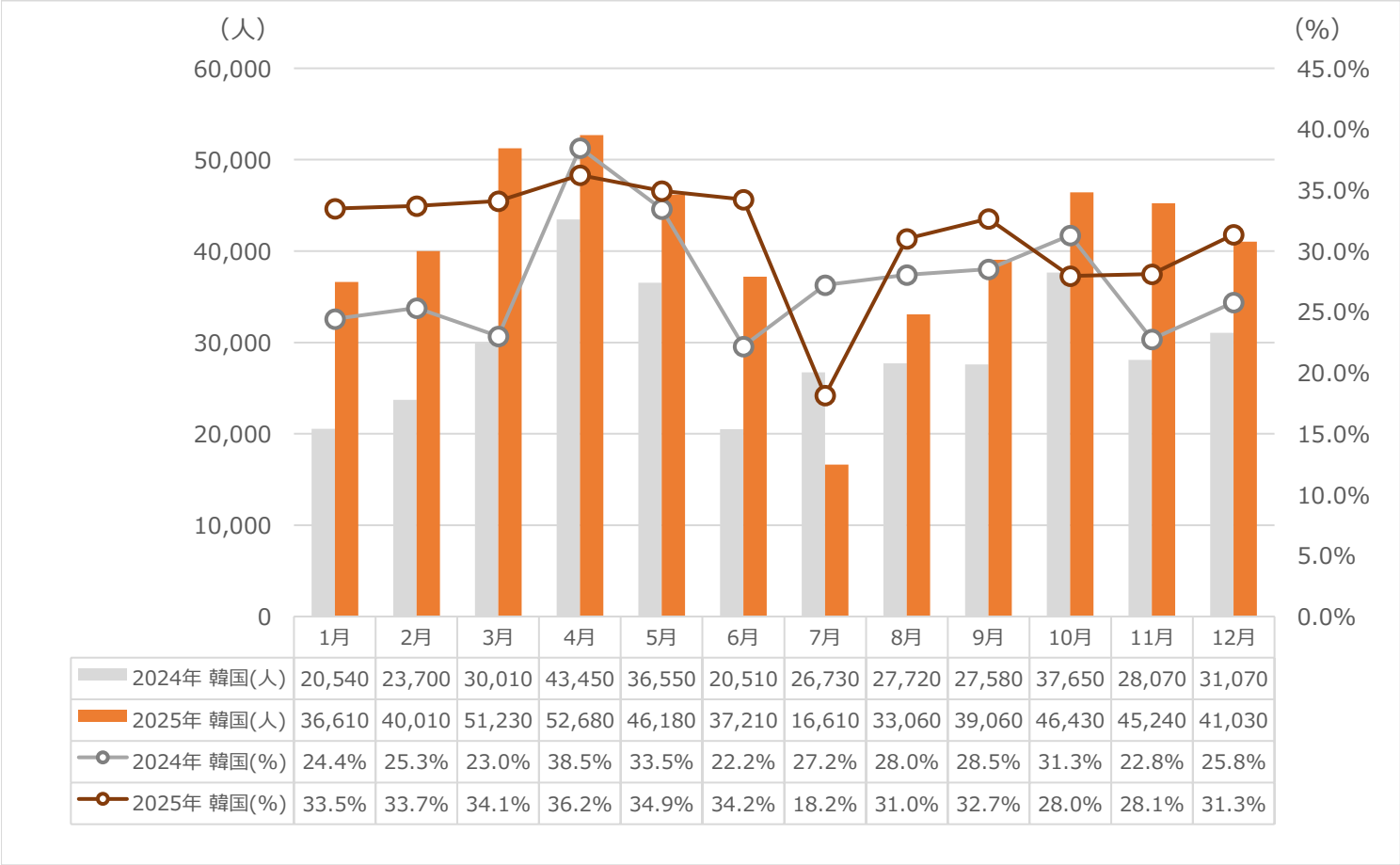


2025年4Qの国籍（出身地）割合は、韓国 が「 29.0% 」で最も多く、次いで 台湾 が「 28.0% 」、中国 が「 11.9% 」と続きました。

欧米豪 ： アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン
他アジア ： シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン
その他 ： 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジア に該当しない国籍（出身地）

10. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合（従業者数10人以上の施設）

① 韓国 ※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合

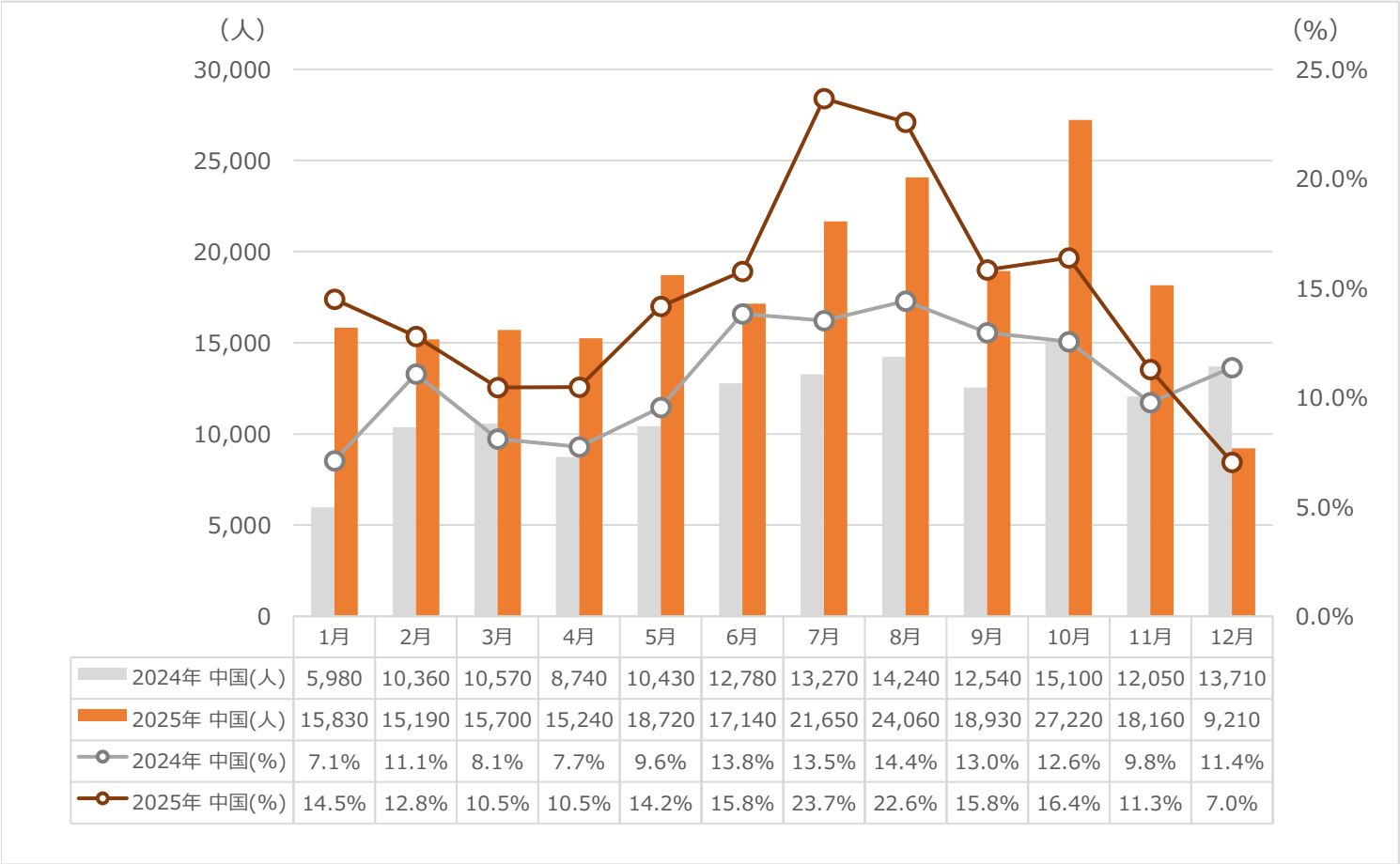


※2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

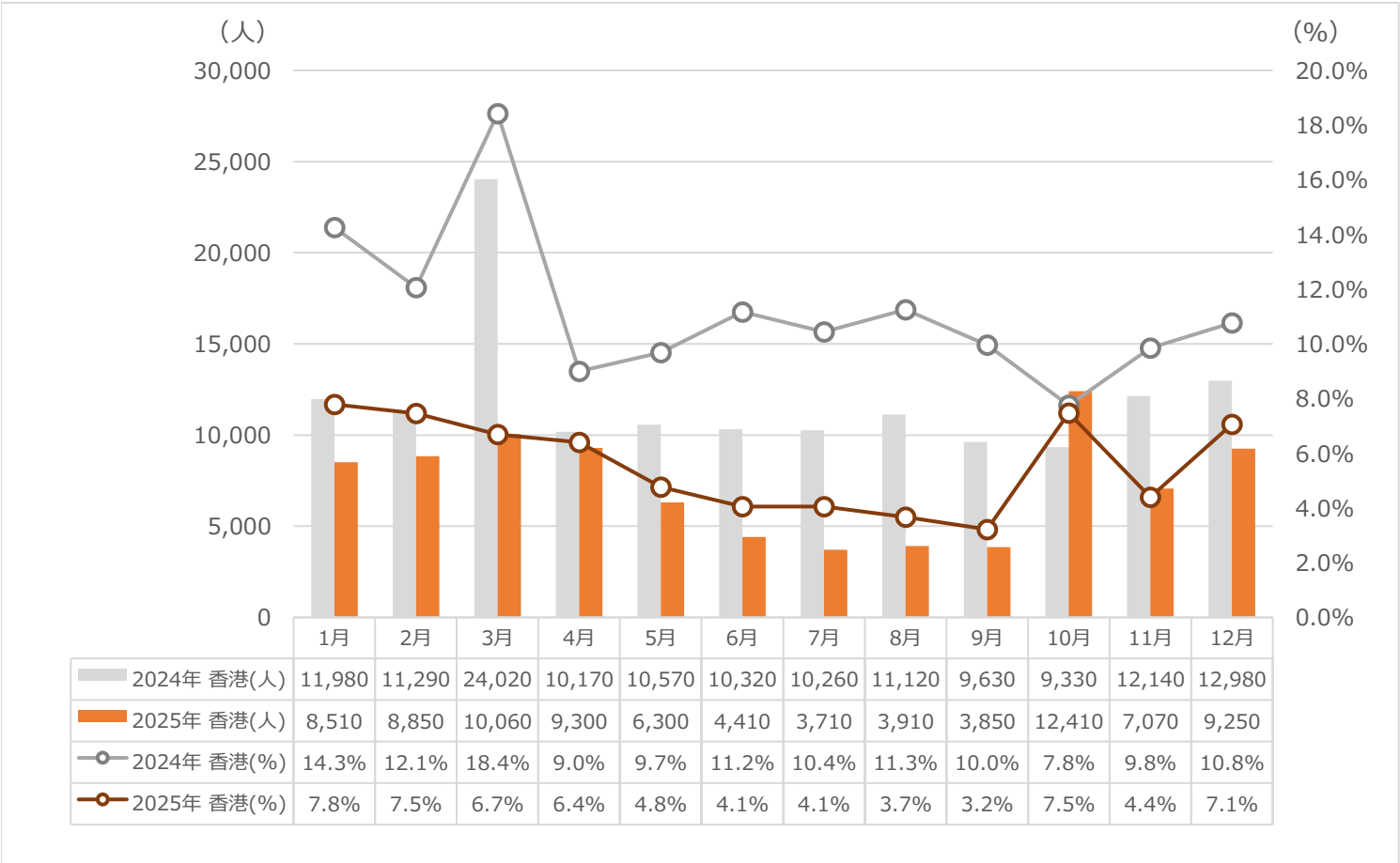
② 中国

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



③ 香港

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合

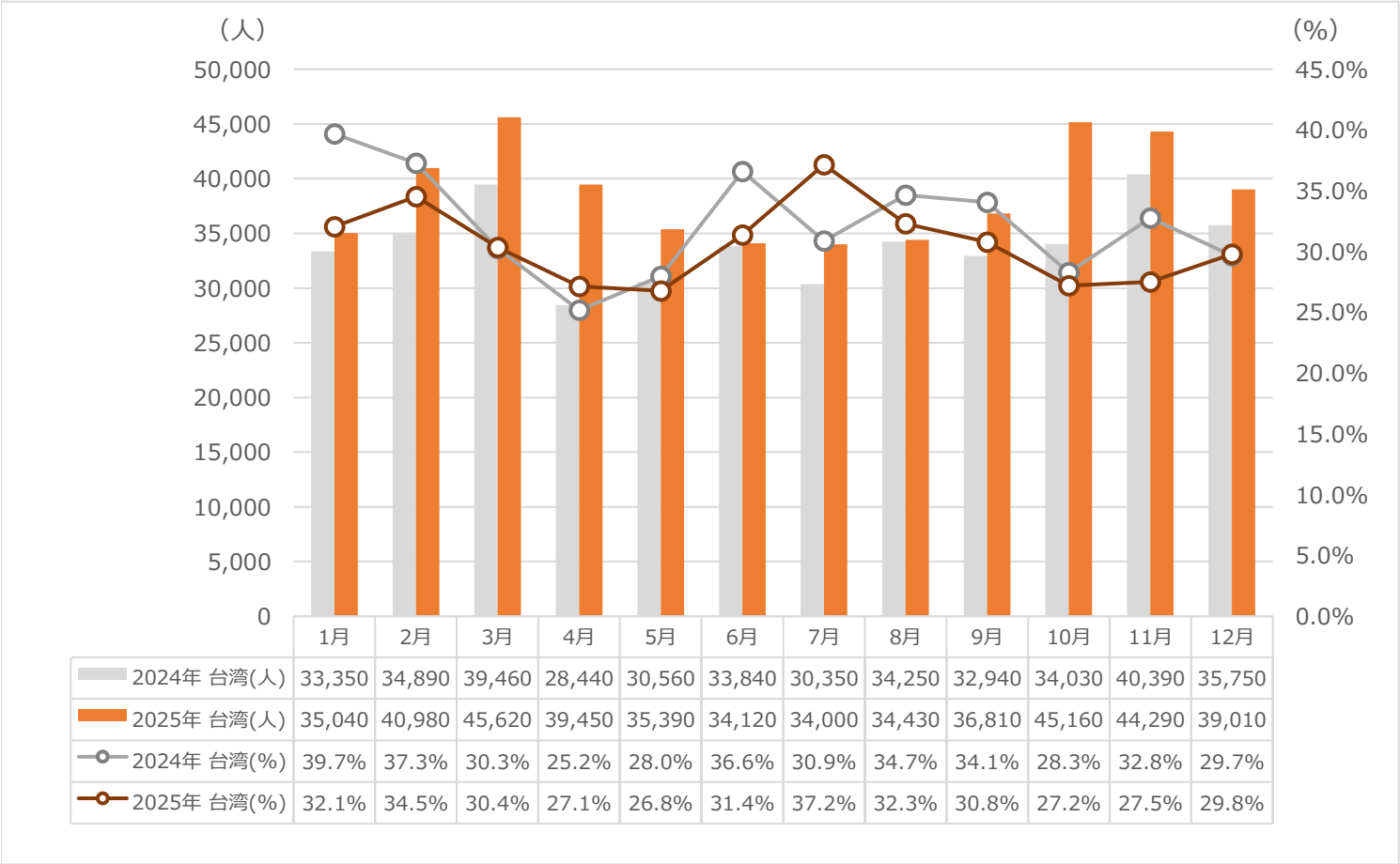


※2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

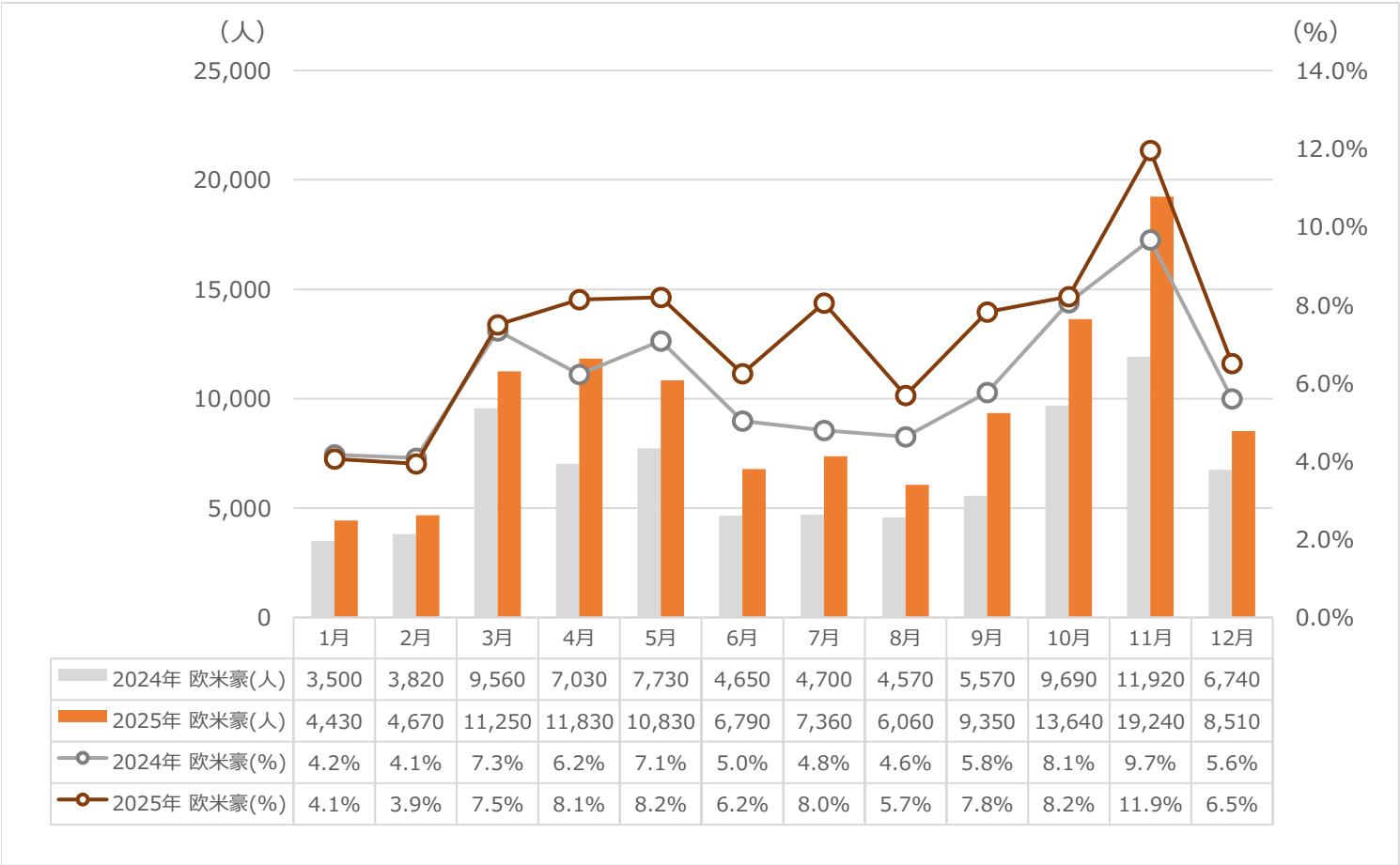
④ 台湾

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合

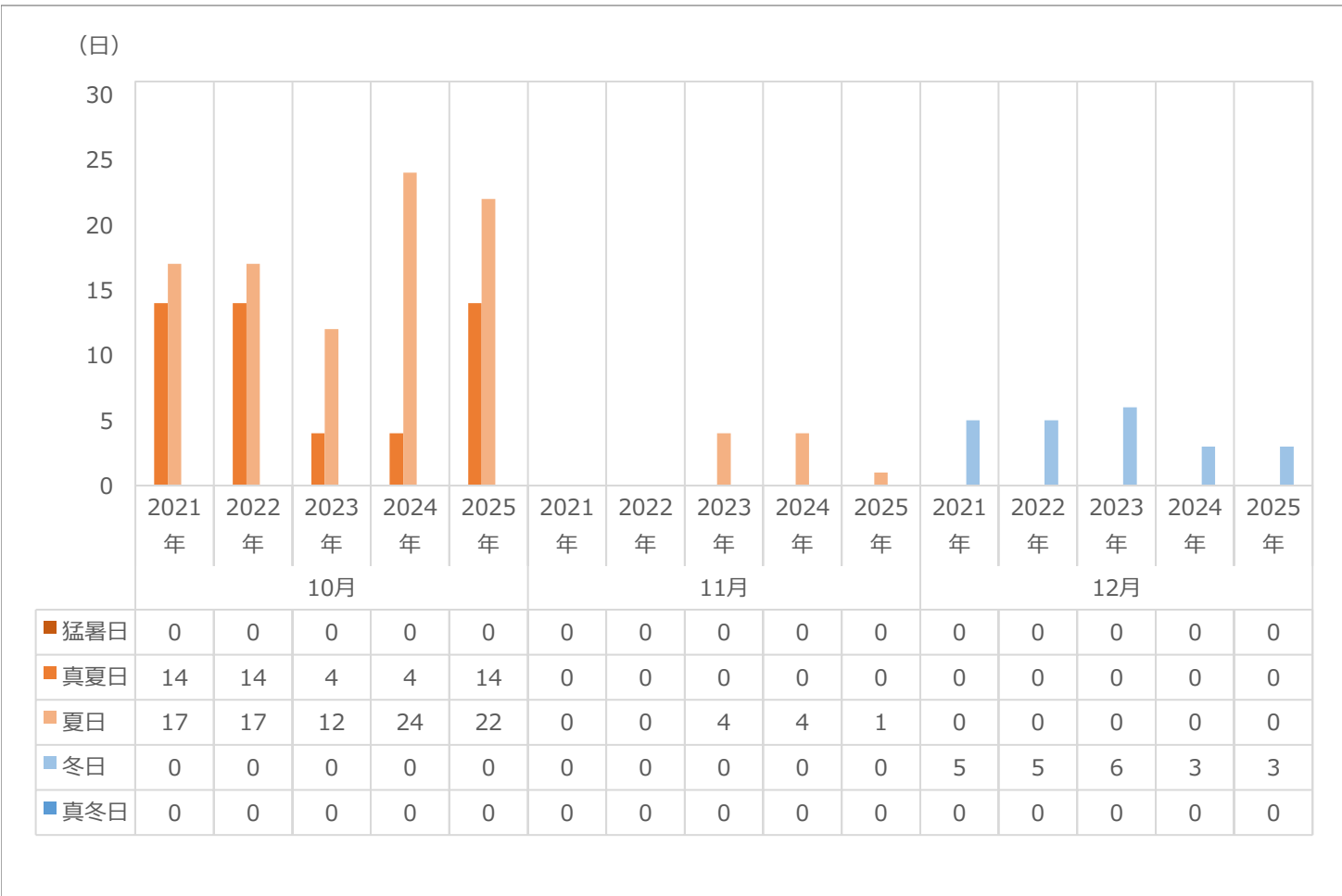


※2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

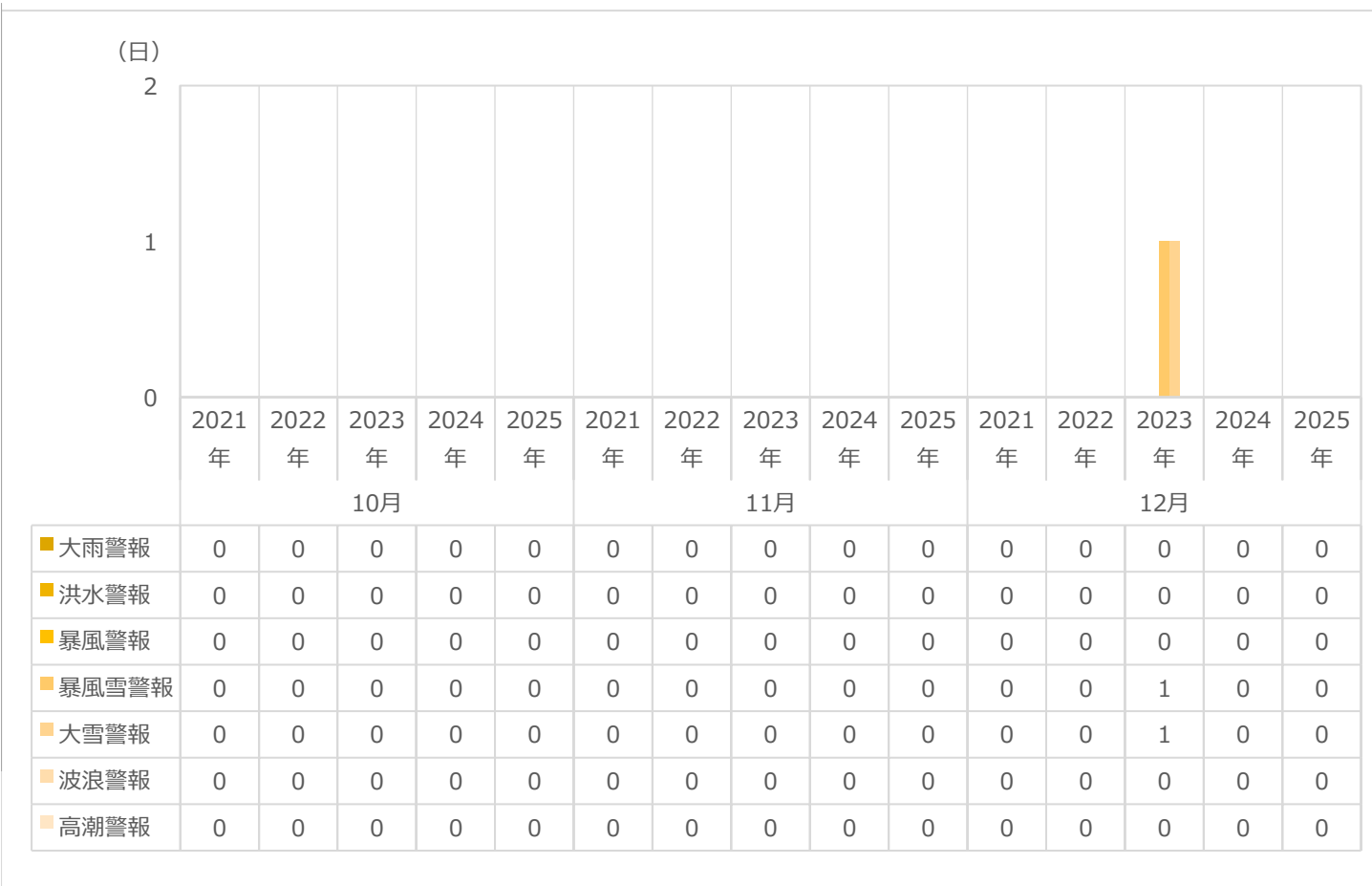
2025年4Q（10～12月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

11. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



12. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など [特記事項がない場合は空欄]

▽ 地域のトピックス ▽

- ・南小国町の紅葉の名所「マゼノ溪谷」が紅葉シーズンへ。（11/10～）
- ・中国外務省が、中国国民に対して日本への渡航自粛を呼びかけ。（11/14）
- ・八代市でユネスコの無形文化遺産に登録されている「八代妙見祭」開催。（11/22～23）
- ・タイガーエア・台湾、熊本～台南線でチャーター便を運航。（12/23～）

▽ 観光シーズンの動向 ▽

今期（2025年10月～12月）の熊本県の延べ宿泊者数は231.0万人と前年同期を3.8％上回った。月別でみても、10・11・12月いずれも前年を上回っている。日別の動きをみると、宿泊稼働指数は平日については期間を通じておおむね前年並みで推移した。一方、10月や11月初週の3連休（10月11～13日、11月1～3日）が中日を中心に県内全域で高い稼働状況となったことに加えて、勤労感謝の日（11月23日 日曜日）が3連休となったことから、前年に比べて高い水準で推移した。

地域別にみると、熊本市、阿蘇地域、荒尾・玉名地域、八代地域、水俣・芦北地域で前年同期比プラスとなった。特に阿蘇地域は前年同期比＋11.7％、八代地域は同＋15.9％と前年を大幅に上回っている。

日本人・外国人別にみると、日本人延べ宿泊者数は同▲0.8％であったのに対し、外国人延べ宿泊者数は同＋22.9％と増加した。外国人延べ宿泊者数を地域別に見ると、八代地域において同＋122.0％と大幅に増加している。国籍（出身地）別にみると、11月14日に中国が日本への渡航自粛を呼びかけたこともあり12月の中国人延べ宿泊者数は昨年から大幅に減少したものの、韓国、台湾、欧米豪はいずれも期間を通じて前年同月を上回って推移している。

熊本県宿泊旅行統計調査について
1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。 (1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合 観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値 ※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値を採用。速報値は観光庁の確定値公表後に遡及改訂を実施する。 (2) 気象情報 気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値 (3) 地域のトピックス メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの (4) 観光シーズンの動向 「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの 2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。 3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。 (1) 本調査内の数値 端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。 国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。 (2) 他の同類・類似調査 調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。 ⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など * 本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。